

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	運営に関する職員意見の反映では、代表者や管理者は毎日の申し送り会議に参加して直接、意見や提案を述べる機会を設け、反映させている。又勤務内での外部研修への参加や、スタッフルームでの休憩など働きやすい環境にはなっている。しかし研修報告の機会が、毎朝のカンファレンスのみで徹底が図られていない。	・全職員研修報告を伝える機会を持ち、情報共有の徹底を図る。	・研修に参加した際には朝のカンファレンス会議報告とともに、年間の会議の中で、報告し情報を共有していく。 ・出来るだけ、参加して頂ける機会を設定していき、時間外の参加も促していく。	12ヶ月
2	13	災害対策で火災や地震、水害等の災害時には玄関で混乱しないよう屋外に出る訓練を日常の散歩や外出の機会を利用して行っている。一人対応の夜間想定火災訓練も行っているが、住民参加型の訓練は行っていない。避難後の協力が得られる体制づくりも課題である。	・火災や地震、水害その他の災害などにおいて地域住民の協力体制が得られるように、体制作りをする。	・散歩時や近所の方々と一緒に活動できる機会(袖ヶ浦市いっせいクリーン作戦)に参加し、交流を図っていき、近隣への呼びかけを民生委員さんの協力を得ながら災害時の訓練や避難後の入居者の見守り体制づくりをおこなっていく。	6ヶ月
3					ヶ月

【評価機関】

特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所